

プラスアルファ



JR四国労組 検索

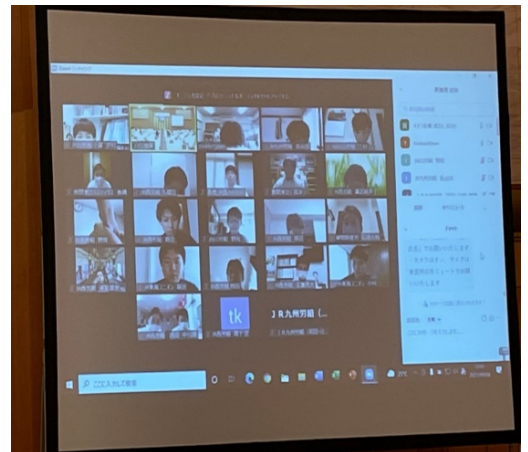
JR連合 青年・女性委員会

第30回定期総会開催!

心ひとつに～仲間とともに明るい未来へ～

JR連合青年・女性委員会第30回定期総会が9月4日、クレメント高松をメイン会場に開催され、JR四国労組からは幹事1名及び総会委員4名並びに会場係6名が参加しました。全国から参加する約70名の仲間たちをリモートで繋ぎ、スローガン『心ひとつに～仲間とともに明るい未来へ～』を掲げ、向こう1年間の活動方針を決定しました。

定期総会では、鶴石議長（JR西労組）から、新型コロナウイルス感染症への対応、安全確立への取り組み、青年・女性委員会活動への取り組みについて挨拶を受けました。また、来賓としてJR連合・荻山会長、同青年・女性委員会担当の宮野企画部長、地元JR四国労組より前JR連合青年・女性委員会担当の中村書記長が出席されました。



質疑では、JR四国労組より尾上総会委員が「安全について」「政策課題について」など諸課題について発言しました。



尾上委員より発言



議長を務める
谷角委員

J R 四国労組総会委員の発言要旨

① 安全について

私たちJR四国労組は安全・安定・安心輸送の確立が全てに優先する最重要課題であるとの認識のもと、日々安全を第一義に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染拡大の長期化により会社発足以来、最大の危機である今こそ、現場の声をもとに、先手を打った労働運動を展開し、安全最優先の職場風土づくりに努めていく。

② 政策課題について

JR四国が当初目標としていた2020年度末での経営自立は未達となってしまったが、2031年度の経営自立に向けて再スタートを切っている。新型コロナウイルス感染症は未だ収束の目処がたっていないが、アフターコロナを見据え、青年女性会議としても変化を恐れず、主体性を持ち前向きにチャレンジしていく。また、退職まで生き生きと働くことができる企業の実現にむけた労働運動を基本組織とともに展開する。政策課題解決に向けた取り組みを通じて「JR連合ビジョン」にもある通り、厳しい状況である今だからこそできることがあると青年女性会議からも強く発信し明るい未来を切り開く決意である。

また、今総会において、JR四国労組から選出の池原前本部青年女性会議長をはじめ、6名の役員が勇退され、新たに本部青年女性会議の矢野議長が幹事に選出されました。

最後に総会アピールを採択し沖畠新議長の発声のもと団結ガンバローで総会を締めくくりました。



【役員選出】

役職名	氏名	単組	備考
議長	沖畠 裕章	JR西労組	新任
事務長	三浦 寛顕	JR東海ユニオン	新任
幹事	三星 輝之	JR北労組	新任
	斉藤 道子	JR東海ユニオン	新任
	大路 弘美	JR西労組	再任
	矢野 宏樹	JR四国労組	新任
	稲葉 稜	JR九州労組	新任
	鈴木 教仁	貨物鉄産労	再任

